



ライフアートコミュニティ佐保の里
通所介護・訪問介護・居宅介護支援・訪問看護



佐保の里たより

ディサービスセンター佐保の里

〒630-8105 奈良市佐保台2丁目902-241

電話：0742-70-5020

青山ディサービスセンター

〒630-8101 奈良市青山4丁目3番

電話：0742-23-1020

菅原ディサービスセンター

〒631-0842 奈良市菅原町298-1

電話：0742-53-2020

新大宮ディサービスセンター

〒630-8115 奈良市大宮町3丁目4-18

電話：0742-30-3560

訪問介護・看護ステーション

〒631-0845 奈良市宝来三丁目16-4

電話：0742-52-7020

ホームページ <http://www.lifeartcommunity.com>

高齢者の見守り

～いのちをまもるために～

「いのちを守る行動をとってください」10月12日から13日にかけて、東日本一帯を襲った台風19号の接近に際し、テレビやラジオは気象庁からの注意喚起としてこの言葉を繰り返し周知していました。残念ながら、この周知もおよばず、多くの人命が失われることとなりました。ご冥福をお祈り申し上げます。

かつて「一人の人命は地球より重い」と語った政治家がいました。人間の命はかけがいのないもので、何物にも代えられないものです。ライフアートコミュニティ佐保の里では一人ひとりの職員が常に人命の大切さを肝に銘じ、日々ご利用者様と接しております。

人命を守っていくという観点からは、高齢者の見守りは大変重要な課題となっております。高齢者の見守りには二つのものがあり、一つは日々の見守りで、これは地域の民生児童委員や社会福祉協議会の皆様、そして地域包括支援センターなどを通じた訪問看護、訪問介護など介護サービスにより行われています。

もう一つは、認知症などにより、行方不明になる心配のある方、また、行方不明になったことのある方への見守りに対応です。奈良市役所では「安心・安全“なら“見守りネットワーク」により、事前登録のあった方が行方不明になった際には、協力事業者を含め、多くの機関と連携し情報収集に努めるシステムを構築しております。

佐保の里では、デイサービスご利用者様の離設について細心の注意を払うとともに、デイサービスご利用時以外の場合でも行方不明になられた際は、佐保の里はもちろん運営母体であるライフアートグループあがての情報収集と捜索体制をとっていきます。

また、地域社会への密着という理念のもと、佐保の里では、佐保台にお住まいの方が行方不明になられた際には、佐保台地域とも連携した対応を今後、進めていきたいと考えております。

奈良市役所「安心・安全“なら“見守りネットワーク」の取組

奈良市「特定利用者個人情報」に登録すれば

- ①所在がわからなくなった時に協力機関へメール発信
- ②QRコード入りシールの無料配布
- ③GPS携帯端末の貸し出し
(利用料月500円、初期費用は市負担)

佐保の里の取組

- ①奈良市「特定利用者個人情報」登録の推奨
- ②デイサービス利用者が行方不明になった際の情報収集
- ③佐保台地域の方が行方不明になった際の情報収集

理念

- 一、我々は地域社会に密着し、介護を望む又必要とする生活者に対し、生きる喜びと健康を守る為に限らない努力を重ねる
- 一、我々は人類、社会に対し、人として又企業として公的な使命が何かを大切に考え、私利私欲を廃し、誇りをもって具体的に貢献し続ける
- 一、我々是我々の生活を支えるべく企業発展を前向きかつ真剣に考え、果てしなく行動し続ける



レクリエーション

秋ですね。お出かけ、運動会など、楽しいイベントが盛りだくさんでした。

佐保の里



コスモドライブ

大柳生にコスモスを見に行きました。
心とおひと時でした。



運動会

応援合戦
は盛り上がりましたね！



青山

奈良公園バスターミナル



屋上からの景色は
最高でした。



運動会

日頃のリハビリの
成果を見せ
ました！



菅原

お食事会 木菅路



木菅路で楽しくお食事会

和やかな時間でした。



太郎と花子

民謡を歌って踊りました。楽しいひと時でした。

運動会



新大宮

趣向を凝らした
競技がたくさん！



大接戦！！

皆様の熱気が
伝わって
ますね！



自慢のご利用者様

菅原デイサービスセンター

奈良市在住

そらたに ひろこ

空谷 裕子 様

71歳

昭和22年12月23日生まれ

笑顔の素敵な空谷様は週3回ご利用下さっています。
お話していると、こちらまで元気を頂けるような
パワフルな方です・・・



「座右の銘」は

ありがとう！

菅原デイサービスの開設当初よりご利用頂き、もう7年目になるそうです。
今まで「佐保の里たより」を見て頂いており、今回のインタビューも事前に原稿をまとめて頂き、ご本人のお話と併せてご紹介させていただきます。

静岡県でお生まれになり21歳でご結婚されて関西へこられました。ボランティア活動も熱心に
取り組まれていた45歳頃に手足の痺れが出始めたのをきっかけに胸椎ヘルニアらしき
症状のため6か月の入院を余儀なくされました。退院された後は車いす生活になりました。



在宅生活をされる中で、リハビリも兼ねてお家の近くの、菅原デイサービスを利用されることになりました。
開設当初ということもあり、ご利用者様の人数も少なく、ファミリー的な雰囲気、利用者様同士も
すぐに顔見知りとなり、それぞれのご自身の話、趣味の話をされるようになり、俳句の得意な方は、
空谷様のことを詠まれたり、絵の上手な方は似顔絵を描いたり、すぐにデイサービスにも打ち解けられ
楽しく過ごされていたそうです。



～ 前を向いて・・・～

入院されていた折、担当の先生から退院後の方針を話された時、先生が目を潤ませながら（のように思われた）
「大変ですががんばりましょう」と言われ、手術をされた先生からも「いつも笑顔を絶やさず元気な声で
生活していきましょう」と言われたことで、ご自身の状態が理解できたそうです。

そんな中でデイサービスを利用し、スタッフの細やかで親切な心使いに触れ、素直な気持ちに近づけたと
おっしゃってくださり、スタッフにとっては最高のお言葉を頂きました。

7年経った今でも、利用者数は増えてスタッフも忙しそうではあるけど、利用者様に対する姿勢は変わって
ないとのこと。来所されるとみなさんと脳トレ（クロスワード）を一緒にしたり、スタッフが考案した
レクリエーションに参加したり、「すごく、くすぐったい声掛け」に励まされながらリハビリを頑張られたり
日一日感謝の気持ちを言いながら、目先に近づく時間を思いながら過ごしていきたいとお話してくださいました。
できないことを悲観するのではなく、前向きにをモットーにしておられるお姿は見習わなくてはなりません
これからも素敵な笑顔を見せてください。貴重なお話ありがとうございました。 インタビュー：森井





と対策



今年の動向

インフルエンザの流行は、例年11月下旬から12月上旬にかけて始まり、1月下旬から2月上旬にピークを迎え、3月頃まで続きます。しかし、今年の9月のインフルエンザの患者数は、例年の同時期に比べると約10倍となっています。特に沖縄県が患者数の半数以上を占めており、すでに沖縄県では警報が発令されています。一方、沖縄を除く他の地域においても、例年に比べ患者数の増加がみられており、九州の各県（熊本県を除く）、東京都や石川県、高知県では、地域内での流行が宣言されています。他の地域においても、例年より患者数が増加しているところが大半であり、今後全国的な流行へと進んでいく可能性が高いと予想されます。特に10月のインフルエンザの患者数の推移には注意が必要です。

インフルエンザの予防には、予防接種を受けることが有効です。予防接種を受けることで、発症率、重症化率の低減につながると言われています。予防接種を受けてから、抗体ができるまで約2週間かかり、効果は5か月間持続しますので、流行前に早めに接種することをお勧めします。

佐保の里での対策

佐保の里で食事の前に次亜水（次亜塩素酸水溶液）の手指消毒を実施していますが、冬季には加湿器で次亜水を空中噴霧しています。

次亜水は弱酸性で有効塩素濃度が30ppm～200ppmの次亜塩素酸（HOCl）を主成分とした水溶液で、厚生労働省によって食品添加物として認められている殺菌剤です。殺菌試験ではインフルエンザウイルス、ノロウイルス等を数秒から数分で不活化することができます。殺菌効果が高い上に、人体に対しては安全性が高いのが特徴です。次亜水は自然分解され、紫外線、温度、有機物などに作用することによって失活し、水道水に近い状態となる特徴があります。

この次亜水を超音波加湿器で噴霧し、インフルエンザウイルスを不活性化させています。また加湿自体も感染のリスクを低減させる効果があります。



漂白剤等の次亜塩素酸ナトリウムとは全く違う物質です。

適切な歯磨きと口腔ケアでインフルエンザ予防

歯磨きや口腔ケアをおろそかにしていると、虫歯や歯周病の原因となる菌が増殖してプラーク（歯垢）となることはよく知られています。このプラークには、気管支炎や肺炎などの発症や重症化にかかわる肺炎球菌やインフルエンザ菌の他、重篤な感染症の原因となる黄色ブドウ球菌、緑膿菌、セラチア菌などの細菌も含まれているとみられます。これらの細菌はプロテアーゼと呼ばれる酵素を出し、インフルエンザウイルスが気道の粘膜から細胞に侵入しやすくする特性をもっています。つまり、口の中が不潔な状態を放置しておくことでプロテアーゼの量が増え、インフルエンザの発症や重症化を招きやすくなります。

日頃から適切な歯磨きや口腔ケアによって、インフルエンザの発症率が10分の1に減ったという報告もあります。



新大宮デイサービス・新体制！！

今年の9月から新大宮デイサービスセンターが新しい体制になり、2ヶ月が経過致しました。まだまだ至らないことが多々あると思いますが、今後ともスタッフ一同、ご利用者様の生きる喜びと健康を守る為に日々努力を重ねてまいります。

9月付で、センター長を拝命致しました。その重みに身の引き締まる思いであります。利用者の皆様方に心も体も元気になって頂き、“良い1日だったなー”と思って頂ければとても嬉しいことであり、また素晴らしいことだという思いでサービスの提供をさせて頂いております。心と心が触れ合う温かいデイサービスでありたいと願って取り組んで参ります。今後とも皆様方のご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

新大宮デイサービスセンター
センター長 大倉 輝子



佐保の里に勤め、9ヶ月・新大宮にて2ヶ月が過ぎました。一番は“利用者様本位”にて動いているか、いかに利用者様に満足して頂けるかを考え日々邁進しております。サービス上、“出来る事”・“出来ない事”は当然ありますが、それでも出来る限りの擦り合せを行い、今後もスタッフ一同、日々のサービスを行っていきたいと思っております。

新大宮デイサービスセンター
マネージャー 南山 仁



掲 示 板



佐保の里『接遇マナー』『コミュニケーション』研修

ライフアートコミュニティ佐保の里では、今回各センターの選抜者により介護の基本でもある接遇マナー、コミュニケーション研修を、8月29日、9月4日、10月16日、10月18日の4日間、30名の職員にて理念を通じてご利用者様、ご家族様、上司、部下、同僚との信頼関係を構築し、さらなる利用者満足を目指すと共に、より良い職場環境を築くための自己啓発の研修を実施しました。「接遇」とは**思いやり**の心を**行動で表す**そのために**CS5原則**(表情、笑顔、挨拶、見だしなみ、話し方、仕草、行動)の実践が大切です。そうすると**相手に承認**を与え顧客満足へと繋がっていきます。この研修を受講し今後の福祉事業の運営にも大きく活用されていると信じています。これからも研修での学びを形骸化することなく、学んだ事が「人」に反映され、ご利用者様への満足度を高めていく礎に成るように取り組んで参ります。



研修での風景



研修での風景



各センター間の交流



実際の挨拶訓練場面

消防訓練の開催

「佐保の里」デイサービスをご利用いただいていますご利用者様に、佐保の里が実施しているサービスに加えより安心にお過ごし頂く為に、年2回の消防訓練と消火器の使い方をご利用者様と実践しています。

『初期消火と通報』の重要性とは・・・

火災による被害を最小限とするには、消防署が到着するまでの時間で、**自営消防隊を如何に迅速・的確に実践するかにかかっています。**

火災時はパニック状態となり、マニュアルどおりにはならない事を想定、火災に対する危機感をもち、消防設備の操作活用ができるようにするのも火災時の迅速な行動につながります。

年2回の消防・避難訓練により
職員、ご利用者様へ防火の意識を
高め、安全・安心頂けるサービスの
実現をめざします



令和1年10月からの消費税改定について

今年10月から消費税が8%から10%に引き上げられました。

軽減税率も同時に実施され、消費者からみると複雑な税率の体系が実施されています。

当施設でも、ご利用者の方々には学習療法の教材費は10%の消費税を徴収させて頂いています。

また、ご利用者の方々の利用料につきましても介護度別単位の消費税分の見直しもあり、ご利用者の皆様方の負担も増しておりますが、今まで以上にご利用者の方々に寄り添ったサービスを提供させて頂きますので引き続き佐保の里をご利用頂きますようお願い致します。

